

事務事業名	猟友会活動支援事業		所属部局	農林商工部	単位番号	6040	
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	農林振興課	課長名	野田栄志	
			所属担当	農業振興担当	担当者名	折居慎也	
基本政策	基本計画	II にぎわいと活力あふれる都市づくり	予算科目	会計 名称 款 項 目 細目 細々目	01 一般 0 6 0 1 0 3 0 3 0 0 5		
政策	07	農林水産業の振興	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金			
施策	12	生産を支える基盤の整備充実					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度) 年度)			法令根拠	市農業振興事業補助金交付要綱		
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 各地区の猟友会の活動に対する支援事業で、全てJAこま野を通じて交付している。 ・捕獲に対する補助もJAこま野に行っている。			事業費の主な内訳 (22年度)			
				項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)
				団体補助金	2,590		
				計			2,590

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	
22年度活動実績	JAこま野を通じて猟友会に捕獲に対する経費の一部を補助する
23年度活動予定	JAこま野を通じて猟友会に捕獲に対する経費の一部を補助する
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
猟友会関係者 主に中山間地域の農業従事者	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしているのか、どのように変えるのか)	
農作物への被害が減少する。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
農産物の安定した生産に繋がる 《生産を支える基盤の整備充実》	

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 猟友会会員一人当たりの支援額	円
イ	
ウ	
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 猟友会の会員数	人
イ	
ウ	
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 捕獲頭数	頭
イ	
ウ	
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 生産農業所得額(山梨県農林水産統計年報)	億円
イ	

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
			千円							
		国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	2,350	2,590	2,590	2,590	2,590	2,590	
		事業費計(A)	千円	2,350	2,590	2,590	2,590	2,590	2,590	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	50	50	50	50	50	50	
		人件費計(B)	千円	223	223	198	198	198	198	0
		(A)+(B)	千円	2,573	2,813	2,788	2,788	2,788	2,788	0
		活動指標	円	2,500.0	2,500.0	2,500.0	2,500.0	2,500.0	2,500.0	
		対象指標	人	119.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	
		成果指標	頭	1,132.0	1,090.0	1,300.0	1,400.0	1,500.0	1,500.0	
		上位成果指標	億円	52.0	52.0	52.0	52.0	52.0	52.0	

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	猟友会を中心とした有害鳥獣の駆除が行われており、農作物の収穫に結びついている。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	有害鳥獣被害は近年の農業にとって重要な問題のひとつであり、被害も甚大であるため、深刻な状況である。今後も、決定的な解決策はなく、手立てを講じていかないと被害は増加していく。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	有害鳥獣の駆除は猟友会が行っており、地元農家としても、果樹被害の減少がみられる。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	年々、有害鳥獣被害は増加傾向にあり、効果的な対応策が必要であるが、効果的な打開策はない。現在は、猟友会による駆除活動等による防除対策が効果的であるが、年々補助額が減少し、猟友会の士気に影響が出てくる可能性がある。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	補助金額の削減

事務事業名	猟友会活動支援事業	所属部	農林商工部	所属課	農林振興課
-------	-----------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 有害鳥獣の捕獲駆除については猟友会の活動が中心となっており、農作物の収穫量を保持するためにはこの事業は必要である。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 猟友会の活動は、農作物を守るために駆除および捕獲を行ってらっている。南アルプス市の基幹産業である農業を守るためにも税金の投入は必要である。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 有害鳥獣の被害については、サルやカラスなど全域にわたってみられる。原状の施策だけでは、さらに被害面積が増加するおそれがある。このため、維持継続よりもより一層の対策を講じていく必要があり、事業の必要性を見直す必要はない。
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 猟友会は旧町村ごとの支部単位となっており、合併などがあれば、区域の線が取り払えるため、成果を向上することは可能。
	⑤類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 事業を廃止した場合、鳥獣による農作物被害が増加し収穫量が減少するため、必要な事業である。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 有害鳥獣駆除により、農作物の収穫量も守られているため休止はできない。
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 事業費については、猟友会の活動支援であり、削減することはできない。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 補助金の申請及び交付事務であり、必要最小限の時間で対応しているため、削減余地はない。
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 事業内容については、農作物を鳥獣害から守るために市内全域で活動しているため、一部の受益者に偏っていることはない。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有害鳥獣の被害などへの苦情や相談は年々増えており、対策として猟友会の活動は被害の抑制に向け大きく貢献していただいている。今後も、巨摩野農業協同組合及び猟友会と連携を密にして、被害の抑制に向け協力していく必要がある。
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
①旧町村単位の猟友会を市の猟友会として一本化する事で、経費は変わらないが、区域の制限が取り払えるため効率は良くなる ②猟友会活動を促進させるための補助金の増額など金銭による動機付けを行う																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
①猟友会ごとにこれまで培ってきた防除方法や取り組み方、知識や技能も異なるため、会員が融合するのに時間がかかる。 ②猟友会会員の高齢化	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑤</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	①	コスト削減優先度評価結果	⑤																	
成果優先度評価結果	①																					
コスト削減優先度評価結果	⑤																					